

班の研究テーマ	一人一課題 タイトル
スポーツ・健康事業	年齢を問わずみんなが楽しめるように。ニュースポーツを通して地域の人と交流する。
	地域の交流ができるようになるのスポーツをやるかを考えたりして、スポーツの楽しさについて考える。
	ニュースポーツを通して地域活性化を図る
	三戸町活性化をニュースポーツを通して、全年齢の人達が交流できる市町村に変えて行くのを課題として取り組んでいます。あまり使われていない施設を活用して、たくさんの人と交流をして仲良く、楽しくできるようにする。
緊急SOS！三戸高校生徒数めっちゃ増やす大作戦！	三戸高校の生徒数を増やすために必要なことを調べる
	三戸高校の生徒数を増やすための中学生への質問を考える
	三戸高校の人数を増やすためにはどうするのか
	三戸高校に何が足りないのか
南部祭り	南部祭でお化け屋敷を開催するために必要なことや当日来てくれた方が怪我等をしなないためにはどうしたらいいか
	運営する際に何が必要で何を決めなくてはいけないのか、多くの人に触れてもらうにはどうしたらいいか
	廃校となった向小の祭りで地域を活性化させる
	グループの社長として、このお化け屋敷を「ビジネス」に見立て、必ず成功させるよう、グループメンバーと協力し、最高のものを創る。
三戸郷土かるた班	三戸町の宣伝と三戸町での交流を目指すこと
	かるたを作ることにより三戸町の宣伝にもなるし、幼稚園や小学生、運動が苦手な人たちができることを目指している
	三戸町の魅力を知ってもらうための郷土かるたを制作して活性化させることと幼児から中学生の交流の場を作ること。
	三戸町の宣伝と小さい子たちとの交流（小さい子たちと遊びながら、知育をする）というテーマで、グループで活動しています。
	個人としては、「三戸の魅力を地域の人に再確認してもらえそうな活動をする」のが個人課題です。
三戸町の宣伝と今計画しているかるたなどでの小さい子達との交流を目指すこと	
廃校利活用事業	廃校の部屋などの用途を考える。
	地域の資源を生かした憩いの場、遊びの場を作る
	廃材をうまく利用する。
	三戸町に人が沢山来てもらうためには
とれたて日帰りツアー	三戸の魅力を他の町民に伝えて、三戸の観光客の増加や農家さんと観光業の連携を図る
	実際にやれる段階まで進める
	考えたプランを実用できるようにアピールする。
	お客様に楽しんでもらえるようなプランを考案する。
	他の地域から観光客を呼び三戸の良さを知ってもらい観光客を増やす
日帰りツアーで地域活性化	
まける日	まける日を活発にするには
	まける日を活発化させるためには
	若者向けのおまけ・まける日を考える
	三戸町に観光客を呼ぶ
「まける日をもっと活性化」をするにはどうすればいいか？	
プラム販促事業	三戸町の特産品（プラム）を広める！
	三戸町の特産品を広めよう
	三戸の特産物『プラム』を使ってスイーツを作ろう
	三戸町の特産品を使って商品開発をして三戸町のことを多くの人に知ってもらう

班の研究テーマ	一人一課題 タイトル
きんかもち研究会	三戸の新しい特産品を作ろう
	きんかもちの中に入れて溢れ出さないように作れるようにしたい
	きんかもちを若い世代に知ってもらい地域を盛り上げる。
	きんかもちに入れるりんごに最も合うものを考えながらキンカもちの試作品を作ること
	みんなで協力しあってきんかもちのポスターを作る
防災事業	みんなで協力してポスターを作る
	南部まつりをもりあげよう
	地域での防災意識が低いこと。三戸町近隣市町村は、高齢者が多いので一人でも多くの人の防災意識を高める
観光スポット事業	地域の方々に防災意識を持ってもらう
	フォトスポットの設置ができるのか、どのようなデザインにするのか（著作権の問題があるため）、また設置するなら何個置くのか
	三戸町に人を呼ぶ
	三戸町にどうやったら観光客を増やすことができるのか
空き家カフェ事業	三戸町の少子高齢化を課題として、まずは三戸町を多くの人に知ってもらうにはどうすれば良いか
	三戸町の活性化 もっといいまちにするために古民家改造をしているところを調べる
	三戸町に人が残るようにしつつ、観光客が「三戸町きて良かった」・「三戸町に住んで良かった」と思ってもらえるような場所をどうつくるか
馬の歴史・文化探究事業	古民家カフェと地域の人との関わり方
	青森県は昔馬で有名だったためそれを使い三戸などの地域の認知度あげる
	また三戸の歴史を知ることにより三戸への知識を高める
	馬の歴史について
	馬の歴史や食文化を理解し魅力を伝える事で三戸に来るきっかけを作る
	馬の食文化についての話をしてもらったので内容をまとめる
	馬の歴史と文化を知る